



東京富士美術館

# 文豪と印象派展

♪ 名曲コンサート

## 【“光と色彩”の音空間～牧神の笛パンフルートとピアノ・シンセサイザー】

日時: 2007年 5月20日(日) 13:30～14:30

会場: 東京富士美術館 ロビー

出演: ウォルティ・ブヘリ(パンフルート)  
宗 有紀(ピアノ・シンセサイザー)

内容: フランス印象派音楽が出発点の夫婦デュオ“パン・デ・デュ”。スイス人パンフルート奏者ウォルとピアノ・シンセサイザー奏者ユキによる“光と色彩”に満ちた音楽会。「愛知万博」や「浜名湖花博」でも招待演奏。ギリシャ神話に由来の素朴な竹笛とモダンな鍵盤楽器が織りなす絶妙なハーモニー。心潤う“音の絵画”をお楽しみください。

演目: ドビュッシー／月の光、ラヴェル／マ・メール・ロアより(眠りの森の美女のパヴァーヌ、妖精の庭ほか)、フォーレ／パヴァーヌ、ムソルグスキー／展覧会の絵よりプロムナード、宮城道雄／春の海 ほか

### ●パン・デ・デュ Pan des Deux (パンフルート)

スイス生まれのパンフルート奏者ウォルティ・ブヘリとピアノ&シンセサイザー奏者 宗 有紀が1996年に結成した夫婦デュオ。「フランス印象派音楽」が大好きな二人が、ある日ドビュッシーの曲を合わせてみると、不思議で幻想的なハーモニーを発見!。以来これまでに、日本・ヨーロッパ各地のさまざまなロケーションで、800回を優に越える演奏活動。国際結婚の彼らは、育った環境・文化・気質などことごとく正反対。違いを認め合い、時にはぶつかりあいながらも、新たな文化として作り上げていくその独特な「両極性」は、二人のユニークな個性と人間味あふれるトークと相まって、毎回、躍動感あふれるステージとなり、観客を魅了している。レパートリーはドビュッシー、ラヴェルの「フランス印象派音楽」を出発点に、ピアソラや童謡の名曲などジャンルは広がり、聴く人に“光と色彩”の音空間を提供し多くの人達に愛されている。'04年「浜名湖花博」モネの庭、'05年「愛知万博」EXPOドームにて招待演奏。'06年には、パンフルート愛好国の韓国にて公演し大歓迎を受け絶賛された。



### ●ウォル (ウォルティ・ブヘリ) Wally Bucheli パンフルート / バス・パンフルート

1964年スイス・ルツェルン州に生まれる。民族音楽バンド、オペラ、ジャズなど様々な音楽経験を重ねる中、19才でパンフルートに出会う。基本的な演奏法をひととおり独学でマスターしたのち、一度はクラシックの音楽の道をめざしベルン音楽大学に学び90年卒業。92年来日後は、再びパンフルートに焦点を絞り活動。クラシックはもとより、ジャズ、ポップス、アヴァンギャルド等、幅広いジャンルのミュージシャンとも共演し“素朴にして神秘性に満ちた”パンフルートの新しい可能性を開拓。その活躍は、癒し系音楽の域を越え、聴く人の心に“潤いと元気を与える”パイオニア的アーティストとして注目されている。フリージャズ・ピクバンド「渋さ知らズ・オーケストラ」や「タンゴ・ロコリンド」でも活動。

### ●ユキ (宗 有紀) ピアノ / シンセサイザー

神奈川県出身。4歳より中学までピアノを浅野繁氏(井口愛子、ミケランジェリ両氏の弟子)に師事。その後、北鎌倉女子学園高校音楽科、国立音楽大学を卒業。厳しい技術訓練に明け暮れた反動からか、一時期ピアノに強い拒絶反応を起こし大学卒業後5年程は、ほとんどピアノを離れていたが、1991年欧米に渡りシンセサイザー奏者として活動。92年帰国後は、パンフルートとの新しい音楽創造の喜びを発見。「パン・デ・デュ」の活動により華麗かつ繊細に歌う絶妙なピアノ・タッチを蘇らせ、多彩な表現としてのデュオで本領発揮中。最近では「渋さ知らズ・オーケストラ」でも意欲的に活動し国内・ヨーロッパでの各種フェスティバルやコンサートにも出演。



TOKYO FUJI ART MUSEUM  
東京富士美術館

〒192-0016 東京都八王子市谷野町492-1

お問い合わせ: 042-691-4511

PC用

<http://www.fujibi.or.jp>

携帯用

<http://hp.fujibi.org/>